

2022年10月18日
株式会社トリプルアイズ



2022年8月期 決算説明会補足資料（質疑応答集）

この質疑応答集は、2022年10月14日(金)の2022年8月期決算説明会に関して機関投資家・金融機関等の皆様からの主なご質問をまとめたものです。ご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

Q 01

2022年8月期第4四半期は営業利益がほとんど発生しておりませんが、2023年8月期に営業利益を見込んでいる背景について教えてください。

A 01

外部要因として改正道路交通法施行が延期された影響で、義務化に対応したアルコール検知・記録機能をもつ AIZE Breath の利益発生のタイミングにズレが生じました。引き続きアルコール検知器の引き合いが多くデバイス不足も解消されてきたことから、2023年8月期の営業利益を見込んでおります。

Q 02

2023年8月期は、SI部門のKPIに大きな伸びがないように見えますが、どのように考えておられますか。

A 02

現在、人材市場において、エンジニア不足が顕著になっております。特にAI等の先端技術に関わるエンジニアの確保如何では、企業の安危に関わるものと考えております。優秀エンジニアを成長著しいAIZE部門へ供給するため、経営基盤であるSI部門からの要員移動を計画しております。このため、相対的にはSI部門の成長はやや抑制されると考えております。

Q 03

ゼノデータとの業務提携に関して、画像認識からAIでの説明可能性を究めていくイメージを持ちましたが、どのようなロードマップでXAI（説明可能AI）に向けた取り組みを進めていくのでしょうか。

A 03

先端AIのディープラーニング技術では人がAIの処理プロセスを理解できないというブラックボックス化の問題があります。この問題を解決する技術に説明可能なAI（Explainable AI：XAI）があります。AIでの経済指標予測を得意分野とするゼノデータさんと、AIによる顔認証を得意とする当社にとって、AIのブラックボックス化は社会実装における大きな障壁となっています。共通の課題を有する両社が協力して、XAIの分野で成果を生み出したいと考えております。具体的な取り組みにつきましては、今後のIRで発表してまいります。補足いたしますと、XAIにつきましてはすでに当社では技術サーベイを行っております。囲碁AI研究においてAIが選択した手について、XAIによって理解できないかといった研究を手始めに、画像認識の精度を上げる方法としても、ディープラーニング上でどのように画像認識を行なっているのかについて、XAIのモデルを入れて研究するという取り組みにも着手しております。

ゼノデータさんとの業務提携では、技術者同士のミーティングで議論を進めていく段階にあります。

Q 04

AI によって自動生成される画像や動画のネットワーク上での流布は貴社の事業に直接・間接的に影響を及ぼす可能性はありますか。

A 04

大変重要なポイントをご指摘いただきました。これまでディープラーニングの技術においては、大量のデータが必要とされており、画像を多量に保有するグローバル企業が有利になるという状況がございました。今後、画像を自動生成することによって、学習のためのデータセットを豊富に確保する可能性も推測できます。そうなれば当社も含む日本企業が、米国や中国などのグローバル企業と伍して競争することが可能になるのではないかと推測しております。